

# 「下小もったいない憲法」を制定。 9つの省が省エネ活動を推進。

香川県 三豊市立下高瀬小学校

## 特徴

- 「下小もったいない憲法」を制定し、全校をあげて楽しい省エネ活動を展開している。
- 「電気省」「リサイクル省」「物省」「食物省」などのネーミングのもと、生徒たちがさまざまな活動を展開。
- 特に電気の省エネについては、校内放送やポスター、標語の掲示など、活発に活動している。
- 「家庭の省エネ大作戦チェックシート」を活用し、省エネ活動を家庭にまで広げている。

## 「下小もったいない憲法」制定！ 全校生徒参加の省エネ活動へ。

下高瀬小学校では、3月には高知大学の環境サークル「子どもの森」と交流し、環境劇を通して地球温暖化について学習したそうです。そこで学んだ知識をもとにして、省エネの大切さを全校生徒に呼びかけるため、6年生を中心に「下小もったいない憲法」が作成、提案され、全校生徒によって採択されました。これによって、全校生徒が参加する、学校をあげての省エネ活動が展開されるようになりました。

### 下小もったいない憲法

#### <前文>

地球温暖化を防止することは、地球や多くの人々にとって大切なことである。人間が地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を増やしているため、人間には地球温暖化を防止する責任がある。

そこで、下高瀬小学校では、エネルギーを大切に、人や物に感謝して、『もったいない』を意識して行動することを決意する。この目的を達するために省エネを続けていきたいと思う。

#### <条文>

- 1 だれも使っていない部屋の電気を消しましょう。
- 2 持ち物に名前を書いて、最後まで大切にしましょう。
- 3 リサイクルをしましょう。  
(ごみの分別、わりばし、アルミ缶)
- 4 水を大切に使いましょう。
- 5 好ききらいなく給食を食べましょう。
- 6 お家にも省エネを広げましょう。

省エネキャラクター  
「エネちゃん」



下高瀬小学校

## 人や環境に やさしさを広げる取り組み。

下高瀬小学校では、2年前から6年生が「人や環境にやさしさを広げよう」をテーマに、省エネ活動に取り組んできました。身近な環境の変化を調べたり、専門家の話を聞いていく中で、「地球温暖化は自分たち人間が引き起こした問題だから、自分たちで解決したい」という意識が徐々に芽生えてきたといえます。

そこで、「電気省」や「リサイクル省」「物省」「節水省」「食物省」など9つのグループに分かれて、それぞれの目的に合った実験や実態調査を行いながら、自分たちができる省エネ活動を少しずつ発見していきました。また、調査をしていく中で疑問に思ったことや、新しい省エネの方法などを、専門家（コーディネーター、グリーンコンシューマーなど）に教えてもらい、校内や家庭で実践していきました。同時に、市の広報誌や文化祭など、地域にも積極的に省エネのコツを発信しているそうです。

## 電気省は省エネナビを活用し、データを毎日、校内放送で報告。

電気省（電気の無駄遣いを減らすグループ）では6年生の児童が、校内に設置された省エネナビで電気の使用量・金額・CO<sub>2</sub>の排出量を測定しています。測定されたデータは毎日校内放送で全校生徒に報告し、電気の無駄を減らすよう呼びかけています。

放送例 「1月23日に使用した電気量は239kwhでした。金額は5,269円使っています。CO<sub>2</sub>は132kgです。これは、教室33個分のCO<sub>2</sub>を出していることとなります。目標は200kwhです。無駄な電気を減らして地球温暖化を防止しましょう」。



高知大学「子どもの森」の環境劇で、地球温暖化について学習

この他にもポスターの作成や標語の掲示など、日常から活発な活動を行っています。その結果、省エネ活動開始前の平成17年度の電気使用量6,233kwhと比べると、18年度は4,322kwh、19年度は4,080kwhと、この3年間でおよそ35%の使用量削減を達成しました。

またCO<sub>2</sub>の排出量も、平成19年度には2,264kgとなり、平成17年度の3,459kgと比べて約1,195kg削減されました。

この他にも、次の活動が行われています。

### ◇児童会

毎週火曜日を空き缶デーとして、全生徒が家庭にある空き缶を持ち寄り、児童会が中心となって回収しています。

### ◇リサイクル省

児童会の作ったポスターを貼り、アルミ缶の回収を呼びかけています。



食物省の生徒が作ったリサイクル人形

### ◇物省

落とし物を減らすためのポスターを作成しています。

### ◇節水省

手洗い時に節水するよう呼びかけるポスターを作成しています。

### ◇食物省

わりばしの使用を減らす標語を掲示し、エネルギーの無駄遣いを減らす呼びかけを行いました。また、リサイクル人形の制作も行いました。

## 学校での省エネ活動を、家庭へ広げる動きも。

今回の省エネコンテストを機に、6年生を対象として10項目のアンケート調査を行いました。中でも、「テレビを見ない時には消します」の項目で「はい」と答えた生徒は、省エネ活動を始めたばかりの平成18年5月には64%でしたが、省エネ活動が定着し始めた平成19年2月には80%まで増えました。さらに、「下小もつたいない憲法」が制定された平成20年3月には、全校生徒の95%がテレビを見ない時は消していると回答しました。また、「家庭の省エネ大作戦チェックシート」も毎年活用しており、学校での活動を生徒一人ひとりが家庭にまで広げています。校内だけでなく家庭でもしっかりと省エネの意識が浸透しているようです。

【エネルギー削減率】 5.6%

### ■プロフィール

所在地:香川県三豊市  
参加生徒数(学年):211人(1~6年)  
省エネ活動について:以前から実践  
省エネナビ:設置